

司法試験 公認会計士試験 国家公務員採用総合職試験

難関突破を祝う



合格者を代表して塚本さん(中央)が感謝の言葉を述べた

16年度公認会計士試験、国家公務員採用総合職試験合格者

司法試験合格者は本紙10月号(第153号)に掲載。カッコ内は在学・卒業年、学部、所属ゼミ、出身校

◆公認会計士試験
▽塚本裕貴さん(経済3、加藤浩平ゼミ、神奈川県大船高)▽宮崎隆広

さん(経済3、神奈川県藤原高)▽大石敦也さん(商3、静岡県静岡商高)▽佐藤美幸さん(商4、埼玉県狭山経済高)▽神谷実来さん(商4、伊藤和憲ゼミ、沖縄県昭

和薬科大学附属高)▽齋伊藤尚起さん(商4、東京都大田校台高)▽伊藤尚起さん(商4、

長野県伊那弥生ヶ丘高)▽中村元紀さん(平18法、山口県岩国高)

◆国家公務員採用総合職試験【大卒程度試験】
▽平良春人さん(経済4、奴田原健悟ゼミ、神奈川県上溝高)▽古郡拓也さん(経営4、小沢一

郎ゼミ、山梨県市川高)▽中村天平さん(文4、金子洋之ゼミ、静岡県韮山高)▽中川真央さん(法4、山田創一ゼミ、

東京都専修大学附属高)川本紙11月号にインタビュー掲載

司法試験、公認会計士試験の現役合格者の割合が近年高まっていることを挙げ、指導教員や各試験の対策講座を運営するエクステンションセンターの職員に謝意を表した。日高理事長は「スタートラインに立った皆さんにとって、これからが本当の勝負。専修大学の教育の真価を証明するためにも、心して頑張ってください」と激励した。来賓の稲村榮典さん(昭46商)は、3年次在学中に公認会計士試験に合格。都内でコンサルテ

「挑戦できるならやってみよう」と受験を決めた。論文式試験の選択科目は経済学、「授業で学んだ経済学の基礎を生かした」と話す。「公認会計士試験の勉強を思い返したことはない」とスピーチを切り出した塚本さんは「エクステンションセンターの方が励まし、大原学園の先生方が忍耐力をつけてくださったおかげ」と続け、勉強から読書をする楽しさを知ったと充実していた日々を振り返った。国際経済学科の講義では世界と日本を比較することが多い。日本の研究開発やベンチャービジネスに対する熱意が欧米に比べ低いと知り、「それなら自分がベンチャー企業を手助けしたい」と考えるようになった。塚本さんはスピーチで「日本の中小企業を支えることが大きな目標。いつの日か、卒業生として胸を張れるように努力していきます」と誓い、会場から盛んな拍手を浴びた。合格者には大学、育友会、校友会職域支部の法曹会、会計人会からそれぞれ記念品が贈呈された。試験に1回で合格した、合わせて14人に校友会学生奨励賞が贈られた。



日高理事長(左)から記念品を手渡された

通学時間利用し勉強

宮崎隆広さん(経済3) 高校で公認会計士の仕事を知り、興味を持ったのが試験を目指すきっかけです。専修大学の会計士講座は大変充実していると聞き、入学しました。苦手は理論科目。さまざまな勉強法があるとは思いますが、往復で3時間になる通学時間を利用して、テキストや本を徹底的に読み込んで勉強しました。

中小企業を支えたい

大石敦也さん(商3) 商業高校で簿記を学び「大学3年で公認会計士試験に合格する」と目標を立て、専大に入学。授業で監査論、会計基準論、簿記論を選択し、試験勉強と運動させました。3年次に48単位も履修したため、論文式試験の勉強が終わってからは前月試験に取って代わった。約1カ月と時間が限られた分、科目ごとの時間配分を考え、集中できたいと思います。

繰り返しの答案練習

佐藤美幸さん(商4) 高校で学んだ簿記を生かした仕事をしたところ、専大に入学して公認会計士のことを知りました。「最難関の試験のひとつ」という説明を聞いたことで気持ちに火がつき、現役合格を目標に掲げました。

故郷沖縄で活躍誓う

神谷実来さん(商4) 数学が好きで大学の目標は資格を取ることに。3年次の5月、初めて受けた短答式試験の出来が全くだめだったので、予備校に通い、朝型の生活に切り替えました。6時に起床し、7時半には予備校に。夜10時までに帰宅し、12時前に寝ます。以前は夜型で、昼ごろから勉強を始め、途中でつまずくと時間を食われて他の科目に手が回らないことも。「早く起きてやればよかった」と後悔し、ストレスになっていました。生活リズムが整うと計画通りに勉強が進み、気分も体調も安定。忍耐力がついたと感じます。将来は出身地の沖縄に帰り、沖縄で活躍できる会計士になりたいです。

試験チャレンジは3年次1回のみ、合格できなかつたら翌年の受験はあきらめようと心に決め、集中して取り組んだことが良い結果に表れたのかもしれない。気分転換は野球。地元の草野球チームで汗を流しました。将来は海外の企業にかかわる仕事をしたいと思っています。

知り合いに勤務先が廃業になり、再就職に苦労した人がいます。廃業する前に何か方法はなかったのか。行き詰まった経営者の相談に乗り、助言できる公認会計士になりたいと考えています。中小企業の安定経営に役立つ仕事をしたいのが目標です。

1年目は量をこなし、2年目は質を意識して勉強に励みました。答案練習は繰り返しが大切です。何度も同じ問題を解くことで、解答の過程で省略できる部分に気付くなど、よりスムーズに解答できるようなりました。常に自分を高めていき、専門分野を持った会計士を目指します。自分の力がどこまで通用するか。4月からの新たな挑戦に意欲を燃やしています。

祝賀会の最後にあいさつした伊藤さんは、「大学の卒業延期制度を利用して失敗を乗り越えて頑張った」と語り、集まった室員たちも「来年は自分たちの番だ」と心な

計修会も合格祝賀会

計修会(専修大学公認会計士試験研究会)主催の公認会計士試験合格祝賀会が12月17日、神田キャンパス近くの会場で開催された。写真は本年度は、計修会から吉澤和恭さんと伊藤尚起さんの2人(いずれも商4)が合格した。計修会は、身近に合格者に接することで競い合い、励まし合って同じ目標に挑戦する仲間が集う場であり、そこで鍛えられたコミュニケーション能力は、社会人基礎力の向上や卒業後の連携強化にも役立っている。

税理士試験合格 卒業生へお願い

本学出身の会計士・税理士の会である専修大学会計人会(吉田伸江会長)では、合格者の方への支援やネットワークづくりのため、2016年度税理士試験に合格した(一部科目合格も含む)卒業生の情報を求めています。合格者の方は、校友会事務局(☎03・326657579、Email: kovyka@acc.senshu-u.ac.jp)までご連絡ください。ご協力をお願いします。



祝賀会の最後にあいさつした伊藤さんは、「大学の卒業延期制度を利用して失敗を乗り越えて頑張った」と語り、集まった室員たちも「来年は自分たちの番だ」と心な

祝賀会の最後にあいさつした伊藤さんは、「大学の卒業延期制度を利用して失敗を乗り越えて頑張った」と語り、集まった室員たちも「来年は自分たちの番だ」と心な

祝賀会の最後にあいさつした伊藤さんは、「大学の卒業延期制度を利用して失敗を乗り越えて頑張った」と語り、集まった室員たちも「来年は自分たちの番だ」と心な

都合により写真は掲載いたしません
神谷実来さん

都合により写真は掲載いたしません
塚本裕貴さん

都合により写真は掲載いたしません
齋藤涼平さん

都合により写真は掲載いたしません
宮崎隆広さん

都合により写真は掲載いたしません
佐藤諒也さん

都合により写真は掲載いたしません
大石敦也さん

都合により写真は掲載いたしません
吉澤和恭さん

都合により写真は掲載いたしません
佐藤美幸さん

都合により写真は掲載いたしません
伊藤尚起さん

都合により写真は掲載いたしません
伊藤尚起さん